



須坂市消防出初式

須坂市消防団広報紙



さくら：消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

2013 4
(平成25年)

▲「須坂市消防出初式」が須坂小学校グラウンド、メセナホールで開かれ、服装点検、分列行進、市中行進、辞令交付などが執り行われました。(1月13日)



▲出初式で任命辞令を受ける第5分団 依田紀美団員(右側)



女性消防団員入団

本年一月一日付で七名の女性消防団員が入団しました。須坂市消防団では初となる各地域分団への入団です。(第一分団、第五分団、第六分団、第七分団)
さっそく規律訓練等を行い、出初式にも参加しました。出初式に参加した女性団員からは、「きびきびとした男性団員の規律に感動した。私たち女性消防団員も、市民の生命・財産を守るため、早く役に立てるように訓練し、女性団員にしかできない活動をしていきたいです。」との声が聞かれました。

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、「大切な家族や地域を守りたい」という思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団長

依田 浩明

須坂市消防団管轄区域 第1分団 1部 穀町、上町 2部 坂田町、南原町 第2分団 1部 本上町、上中町、中町、常盤町 2部 屋部町、小山町、北原町 第3分団 1部 横町、東横町、立町 2部 南横町、北横町、馬場町、西町、須坂ハイランド町、田の神町 3部 八幡町、境沢町 第4分団 1部 春木町、新町、太子町、相森町 2部 高橋町、大谷町、本郷町



▲「歳末夜警」年末の火災、犯罪を防ぐため夜間警戒を行いました。(12月26日～30日)



▲「建物火災防御訓練」消防署と合同でマツヤ様にて訓練を行いました。(11月10日)



▲「ラッパパレード」全国秋季火災予防運動中に第7分団管内にて行いました。(11月4日)



▲「S-KYT研修会」消防団危険予知知識研修を受講しました。(2月17日)



▲「幹部研修会」消防団幹部としての心構え等を学びました。(2月22日)

「消防団普通救命講習Ⅰ」
応急手当普及員から応急救
護や心肺蘇生法などを学び
ました。(3月17日)



「規律担当者訓練」各分団の
規律担当者が規律訓練を受
けました。(3月8日)

女性消防団員用の活動服が
支給されました。
デザインが一新されました。



今後の主な活動予定

- 4月18日 春の特別火災予防運動～22日
- 4月21日 山林火災防御訓練(塩野町)
- 6月9日 消防技術大会(須坂小学校・常盤中学校グラウンド)
- 6月23日 須高ポンプ操法・ラッパ吹奏大会(森上小学校グラウンド)
- 8月4日 県ポンプ操法・ラッパ吹奏大会(長野市)
- 9月29日 第7回消防団音楽隊交流演奏・女性団員意見発表会(千曲市)

「火の用心」

～いま一度見つめ直して～

平成24年の火災

18件
(建物8、林野1、車両2、その他7)

平成25年は?

今年2月から3月にかけて、住宅火災が4週連続で発生し死傷者6名の火災被害、さらに3月上旬から急激に暖くなり雪解けが一気にすすみ乾燥と強風が重なり枯れ草火災が多発、3月18日には須高地域で1日に5件の火災が発生しました。

身の回りの日常生活器具などは、より使いやすく、より高性能になり、安全面に関しては日々進歩し向上が図られています。

しかし、安全性能が高くなっても、間違った使い方から火災になる事例が多いことから器具の性能を過信せず、初心に返って「火の用心」をいま一度見つめ直してください。

平成25年度全国統一防火標語

「消すまでは 心の警報 ONのまま」

住宅防火

「いのちを守る7つのポイント」

★3つの習慣

- ①寝たばこはしない。
- ②ストーブは可燃物から離す。
- ③ガスコンロ調理中は離れない。
(離れるときは火を消す。)



★4つの対策

- ①住宅用火災警報器の設置
- ②消火器の設置
- ③衣類・寝具等の防炎品使用
- ④隣近所の協力体制



いのちを守る
「住宅用火災警報器」



住宅用火災警報器が煙を感知し、早期に発見し避難できた事例が多々あります。

火災予防に関するお問合せ先
須坂市消防本部 予防課026-245-4200

須坂市消防団管轄区域 第5分団 1部 高畑町、旭ヶ丘町、北旭ヶ丘町、松川町、光ヶ丘ニュータウン 2部 南小河原町、小河原町、新田町 3部 小島町、豊島町 4部 相之島町、北相之島町 第6分団 1部 高梨町、五閑町 2部 塩川町 3部 沼目町 4部 八重森町 5部 村山町 第7分団 1部 井上町 2部 福島町 3部 中島町 4部 九反田町 5部 幸高町 6部 米持町

消防団員 家族の声

地域とのつながり



そりまち 返町 はるな 晴菜さん

四年前に、主人の地元の須坂に引っ越してきました。

主人は誘われるままに消防団に入団。私もどんな事をするのかわかりませんでした。主人が色々な活動に参加するように、地域防災に色々な訓練をしていることを知りました。

私もこの地域へ来てわからない事ばかりでしたが、主人の消防団の話がきっかけで、いろいろな方と繋がりを持つようになりました。

今年は操法大会の選手に選ばれました。大会当日、普段とは違う主人の姿を見て、とても驚きました。残念ながら成績は振るいませんでしたがこのような活動を通じて地域の防災に役立てるといいと思います。

素敵消防団



こばやし 小林ゆかりさん

実家の前で、ボヤがあった時の事。二台の消防車が夜中に音をたててやってきました。

何人かで様子を見てみると近所の元消防団のおじさんが裸足で走ってきました。「えー、裸足？」私はその姿を未だに忘れられません。火事意外にも洪水や大雪の災害時や行方不明者の捜索は消防団員の活動に助けられているんですね。

実際に主人が現場に駆けつけるのは年に僅かですが、それでもいざという時のためにボランティアとは思えないほど万全な体勢をとってくれている姿に感謝しなければなりません。

「お父さん。お仕事頑張っ
てね！」一歳と三歳のこども達には早朝訓練も活動も夜の集まりも「これから仕事だよ」と伝えていきます。素敵なお父さんだよ。

須坂市消防団の 飛躍のために



てらしま 寺島ひろみさん

消防活動は一年を通して言うまでもなく想像以上の取り組みを行なっています。消防団の皆様には感謝いたしております。

活動の中で、主人は仲間同士を大切に、助け合い協調性を重要視しているようです。一つの分団がまとまる事で、須坂市全体への取り組みに大きく貢献できる要因と感じられます。

団結力を育むことを学んだ消防、学んだことを今後に生かして仲間と共に、確実に任務を遂行してほしいと思います。

また、家族としても応援しています。

消防団とおじさん



くりた もえか 栗田 萌夏さん

私は消防団では、なにをやるのかあまりよく知りません。

なのでおじさんに聞きました。訓練をすると言われました。私は消防署に見学に行ったことがありません。消防車がすごく大きかったです。その時におじさんもこんな事をやっているのかなと思いました。すごく格好良かったので、おじさんが人を助けていたら本当にすごいと思います。私はそんなおじさんを尊敬しています。

お父さんの背中



さかた 鈴さん・ゆう 優音さん

私のお父さんは昨年まで第十一分団の分団長を務めていました。

消防団をやっていたころも、今もそうですが、お父さんは仕事忙しいので毎日夜遅く帰ってきます。仕事から早く帰ってきた日は嬉しくて「おかえりー今日はもう何も無いの？」とお父さんに聞くと「だいたい」「ごめんね、これから消防」と返事がかえってきたのを思い出します。ちょっぴりさみしかったです。仕事と地域を守る消防団を頑張っているお父さんの背中を見て

いるとカッコよかったです。朝早くから消防団の訓練をしたり夜に会議をしたり大変そうだったけど、そんなお父さんを家族みんなで応援していました。

お父さん、長い間消防団お疲れ様でした。

応急手当普及員

須坂市消防団では現在十二名の応急手当普及員が活動しています。(活動服の左胸に応急手当普及員のワッペンを付けております。)

応急手当普及員とは市民に対し、救命講習会で指導できる者です。三月十七日に開催した、須坂市消防団員の為の救命講習会では、すべての講師を応急手当普及員の資格を有する消防団員が務めました。今後、市民の安心・安全のため応急手当の普及に務めます。



須坂市消防団管轄区域 第7分団 7部 二睦町 第8分団 1部 下八町 2部 上八町 3部 野辺町、望岳台 4部 村石町、明徳町 第9分団 1部 仁礼町(仙仁、瀬之脇、宇原、西原、浅間塚、福沢)、峰の原 2部 仁礼町(常盤、中村、新田) 3部 仁礼町(関谷、栃倉) 第10分団 1部 亀倉町、夏端町 2部 米子町 3部 塩野町 第11分団 1部 大日向町、豊丘町 2部 豊丘上町

各分団の活動紹介

第七分团

井上地域を管轄とし、百五十四名の団員が在籍し、百々川、鮎川、千曲川に接している分団、それが第七分団です。特に鮎川、千曲川は時期により表情を一変する河川である為、隣接分団との連携を強め、水害に対し随時対応できるように訓練を重ねています。

また、広い地域であることから
井上町（一部）福島町（二部）中
島町（三部）九反田町（四部）幸
高町（五部）米持町（六部）二睦
町（七部）一町一部の各部長によ
る指導力が大変頼もしい分団です。
「いざ」という時には地元地域、
区民の方々を守り、安心安全な街
づくりを目指して頑張っていきま
すので、今後もし引き続きあたたか
い御支援、御協力をお願い致しま
す。



第7分団長 土谷直生

第八分团

第八分団は、一部（下八町）二部（上八町）三部（野辺町・望岳台）四部（村石町・明徳町）の四部編成で、高甫地域を管轄しています。日頃は、地域住民の皆さま、先輩各位の絶大なご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

第八分団では、ポンプ操法・ラッパ吹奏技術の向上と規律訓練を入り口として、団員の士気高揚と団結強化を図っています。

大切な地域と大切な人を守るために、多くの力が必要です。あなたの入団をお待ちしています！



第8分団長 小川 晃

定期演奏会 御礼



チャリティーコンサートとして昨年11月11日に開催した音楽隊第28回定期演奏会には、寒い中たくさんの皆様にお越しいただき誠にありがとうございました。

おかげさまで17万円余の御芳志をいただき、
社会福祉に役立てていただくため須坂市社会福
祉協議会様へ贈呈させていただきました。

今年も皆様に楽しんで
いただけますよう毎週訓
練に励んでいます。

第29回定期演奏会には是非御期待ください。



編集後記

須坂市消防団長 依田 浩明

編集委員長（分団長会長）

小川 晃（第八分団長）

平成二十五年三月一日から七日まで『消すまでは出ない行かない 離れない』の全国統一標語のもと、春季の全国火災予防運動が実施されたところですが、残念ながら例年にないペースで火災が発生しています。

我々消防団も、引き続き予防消防に努めます。皆さまのご協力をお願いします。

須坂市消防団に、新たに七名の女性消防団員が入団しました。(一月一日付) 女性団員ならではの、新たな活動も検討しております。

皆様のあたたかいご支援と、ご声援をよろしくお願いいたします。

副副
團團
長長
副副
團團
長長
音
楽
隊
長
第1分団 隊長
第2分団 隊長
第3分団 隊長
第4分団 隊長
第5分団 隊長
第6分団 隊長
第7分団 隊長
第8分団 隊長
第9分団 隊長
第10分団 隊長
第11分団 隊長

【編集委員】

小寺塩小土中竹加黒小大豊波田成
林島野川谷島内藤岩山峽田多中田
孝 和 直貴智益一 正伸大敏
明均雄晃生洋弘一視淳憲幸樹勝統